

# 市内中小企業景況調査報告書

令和2年 9月～12月 実績

令和3年 1月～ 4月 見通し

令和3年 1月

江別商工会議所

# 目 次

## I 調査要領

1. 調査対象	2
2. 調査方法	2
3. 業種別回答状況	2

## II 江別市内の経済動向

1. 常時使用従業員数	3
2. 業 況	3
3. 売上状況	8
4. 利益状況	9
5. 資金繰り状況	10
6. 設備投資状況	11
7. 雇用状況	12
8. 「外国人技能実習生」または「外国人労働者」の受け入れ状況	13
9. 経営上の問題点	14

## III 業種別参考資料

1. 製造業	15
2. 小売業	16
3. サービス業	17
4. 建設業	18

# I 調査要領

## 1. 調査対象

- ・市内中小企業 400企業
- 【内訳】
  - ・製造業 81企業
  - ・卸売業 50企業
  - ・小売業 68企業
  - ・サービス業 101企業
  - ・建設業 100企業

## 2. 調査方法

- ・郵送によるアンケート調査を実施した。
- ・調査票発送日 令和2年11月30日
- ・調査票回答期限 令和2年12月25日

## 3. 業種別回答状況

業種	発送企業数	回答企業数	回答率
製造業	81	47	58.0%
卸売業	50	20	40.0%
小売業	68	29	42.6%
サービス業	101	44	43.6%
建設業	100	49	49.0%
合計	400	189	47.3%

※ 本調査結果報告書中の「DI 値」とは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、調査項目についての「良い、増加、過剰」とした企業割合から「悪い、減少、不足」とした企業割合を差し引いた値を示す。

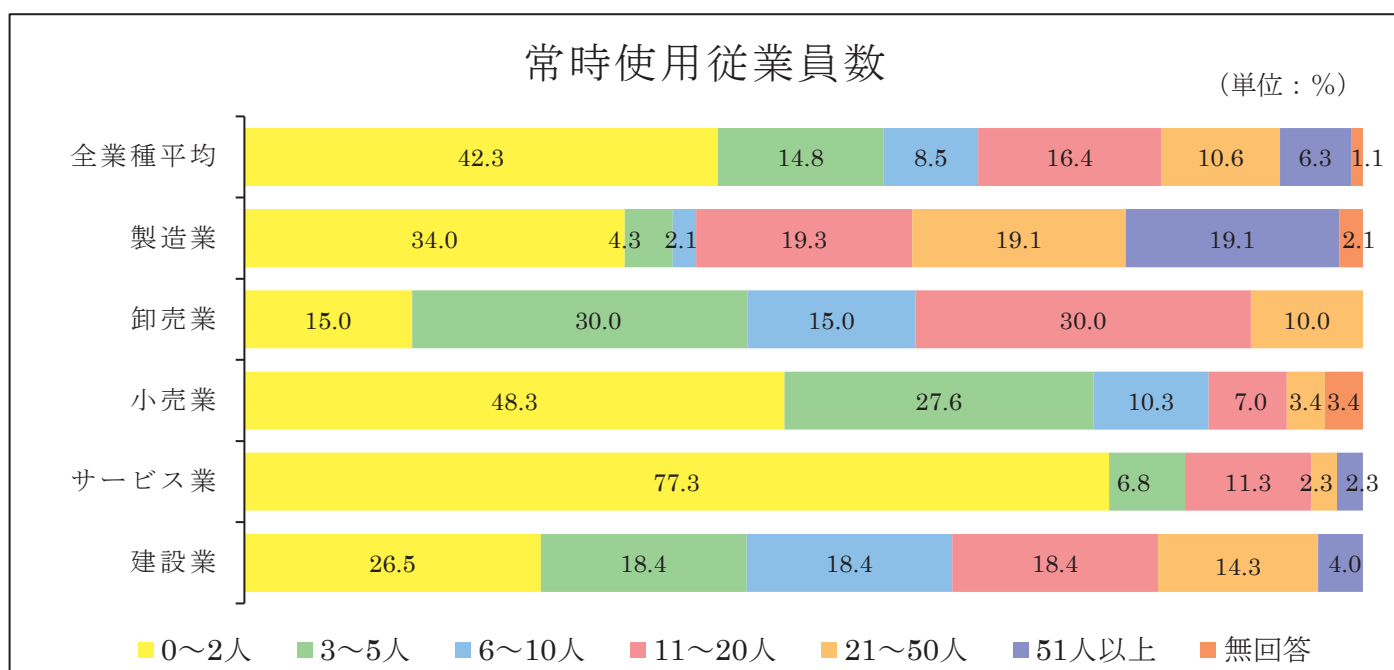
※ 本調査結果報告書中の「前回」とは、令和2年8月（令和2年5月～8月）を示し、「前年同期」とは、令和元年12月（令和元年9月～12月）を示す。

## II 江別市内の経済動向

### 1. 常時使用従業員数

回答企業の従業員数内訳は下記のとおりであり、構成割合は全業種平均で20人以下の企業が約82%を占めており、そのほとんどが小規模企業者であることが分かる。

このように、江別市内の企業形態は、大部分が小規模企業であることから、小規模企業の業況が市内の景況に大きく影響を与えていることが予測される。



### 2. 業況

内閣府が発表した月例経済報告（令和2年12月発表）によると、個人消費は一部に足踏みもみられるが、総じてみれば持ち直してきているとされ、企業収益は感染症の影響により大幅な減少が続いているがその幅には縮小がみられるとなった。雇用情勢は弱い動きのなかで底堅さもみられ、倒産件数はこのところ緩やかに減少、設備投資はこのところ減少、企業の業況判断は厳しさは残るものの改善の動きがみられるとされた。景気は感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。先行きについては、感染拡大防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあり、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染症拡大による社会経済活動への影響が内外経済を下振れさせるリスクに十分注意する必要があるとされている。

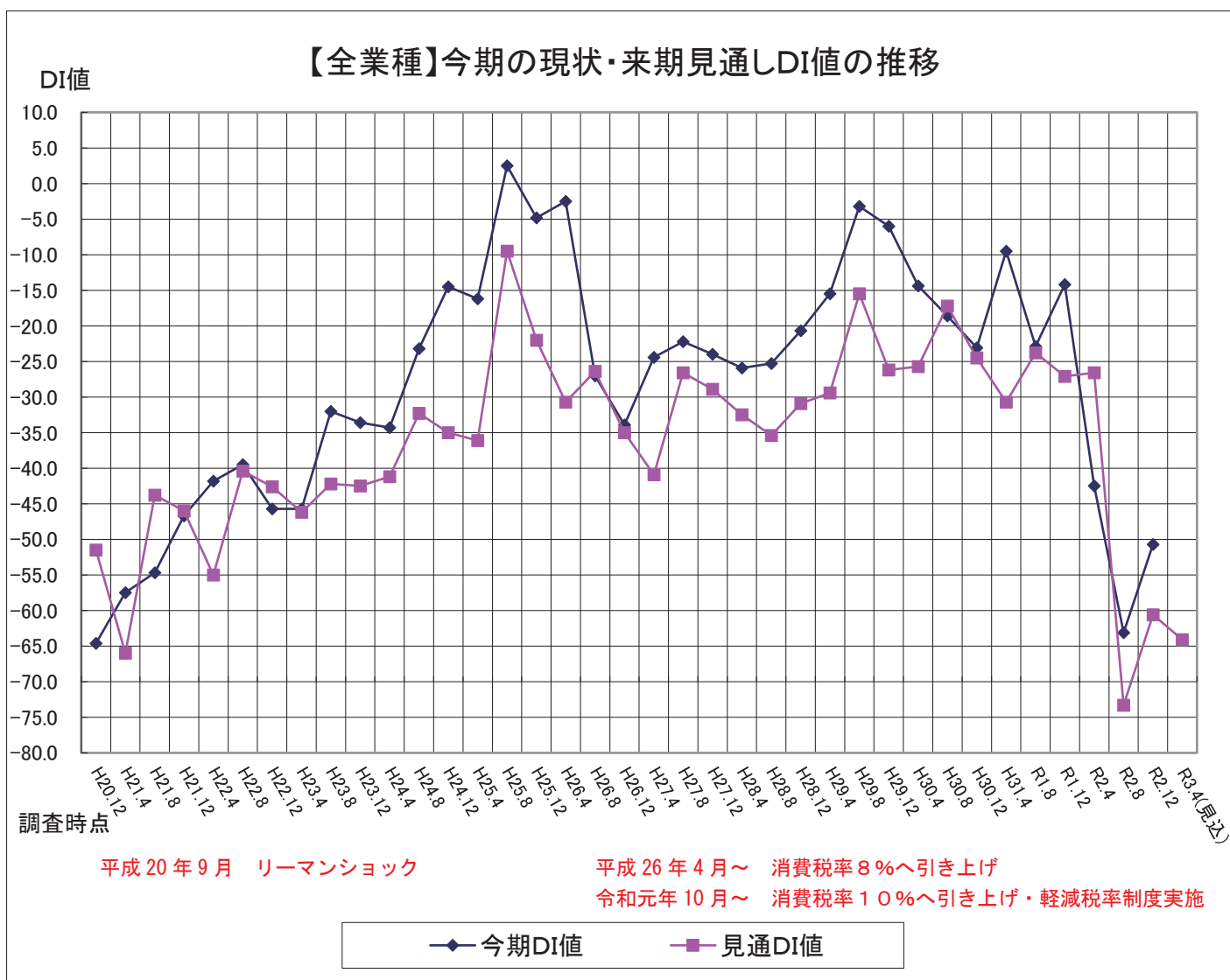
北海道経済産業局が発表した管内経済概況（令和2年12月発表）によると、生産活動は「持ち直しの動きがみられる」となり上方修正されたが、個人消費は「一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる」、住宅建設は「下げ止まりの動きがみられる」、民間設備投資は「減少している」、企業倒産については「件数、負債総額とも増加している」との判断が継続された。公共工事は「減少している」へ下方修正となった。雇用動向も「弱い動きがみられる」が継続され、有効求人倍率は0.97倍と前年同月比0.30ポイント減少、10か月連続で前年を下回った。

道内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる。先行きについては、新型コロナウイルス感染症の影響、国際経済の動向等を十分注視する必要があるとされている。

こうした情勢下、当所が行った江別市の景況調査（令和2年9月～12月）では、全業種平均の今期業況DI値は△50.7と前回（令和2年8月期）△63.1に比べ12.4ポイントの改善となった。業種別に見ても、製造業で20.6ポイント、卸売業で5.0ポイント、小売業では12.5ポイント、サービス業では15.0ポイント、建設業では8.2ポイントと全ての業種で改善した。しかしながら、今期業況DI値を前年同期（令和元年12月期）の調査結果と比較すると、製造業で20.0ポイント、卸売業で58.1ポイント、小売業で41.5ポイント、サービス業で36.2ポイント、建設業で36.2ポイントの悪化となっている。今期の景況感は全業種でゆるやかに改善しているが、依然として新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況が続いている。来期の見通しDI値を今期の業況DI値と比較すると卸売業で10.0ポイントの改善、サービス業では今期の数値と変わらなかったが、製造業で19.2ポイント、小売業で17.2ポイント、建設業で26.5ポイント悪化の見通しとなった。景況の先行きについては総じて引き続き厳しい状況にあるが、業種によって差がみられる。

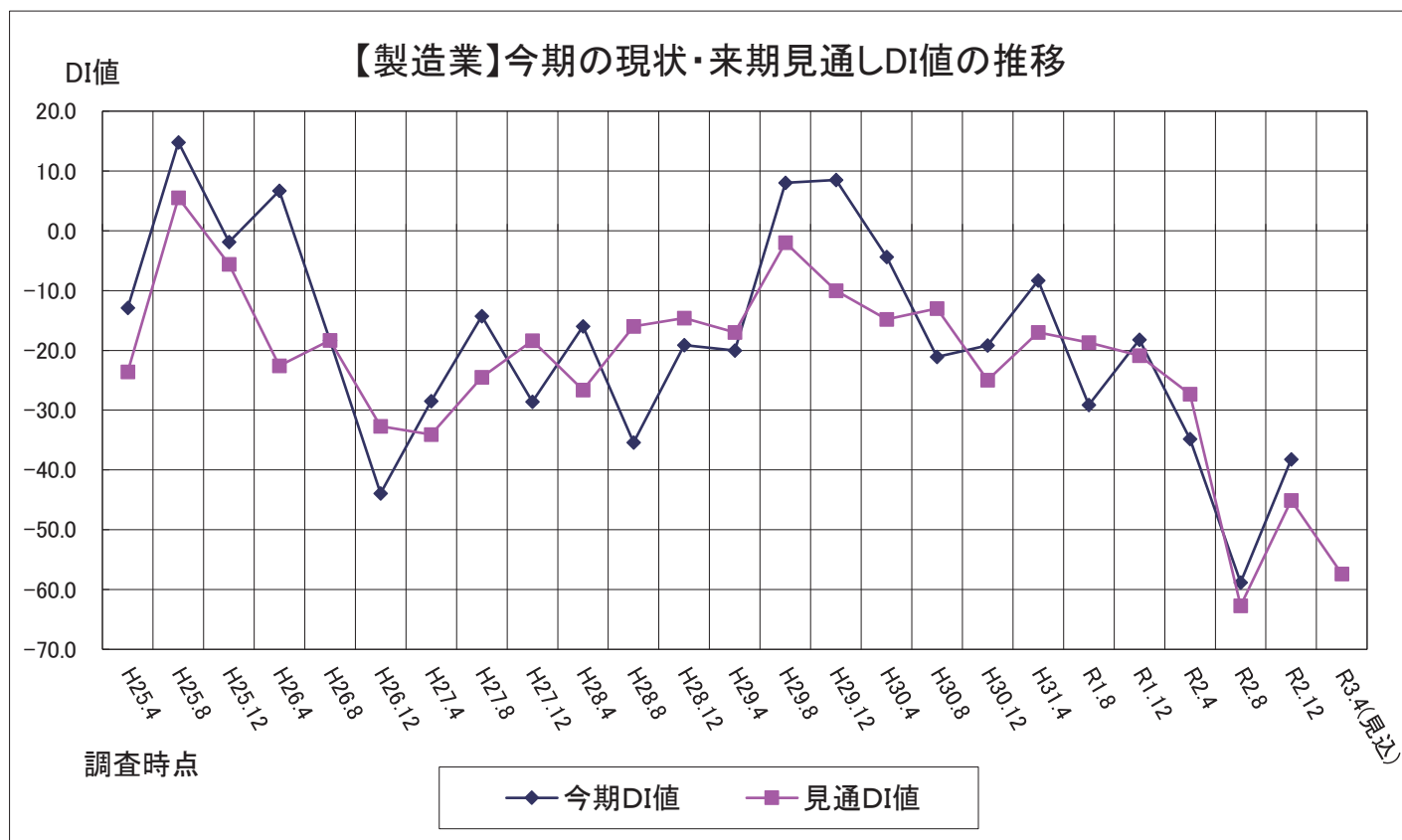
### 全業種平均

- ・今期DI値は△50.7となり、前回より12.4ポイント改善、前年同期より36.5ポイント悪化。
- ・来期DI値は△64.1となり、今期より13.4ポイント悪化。



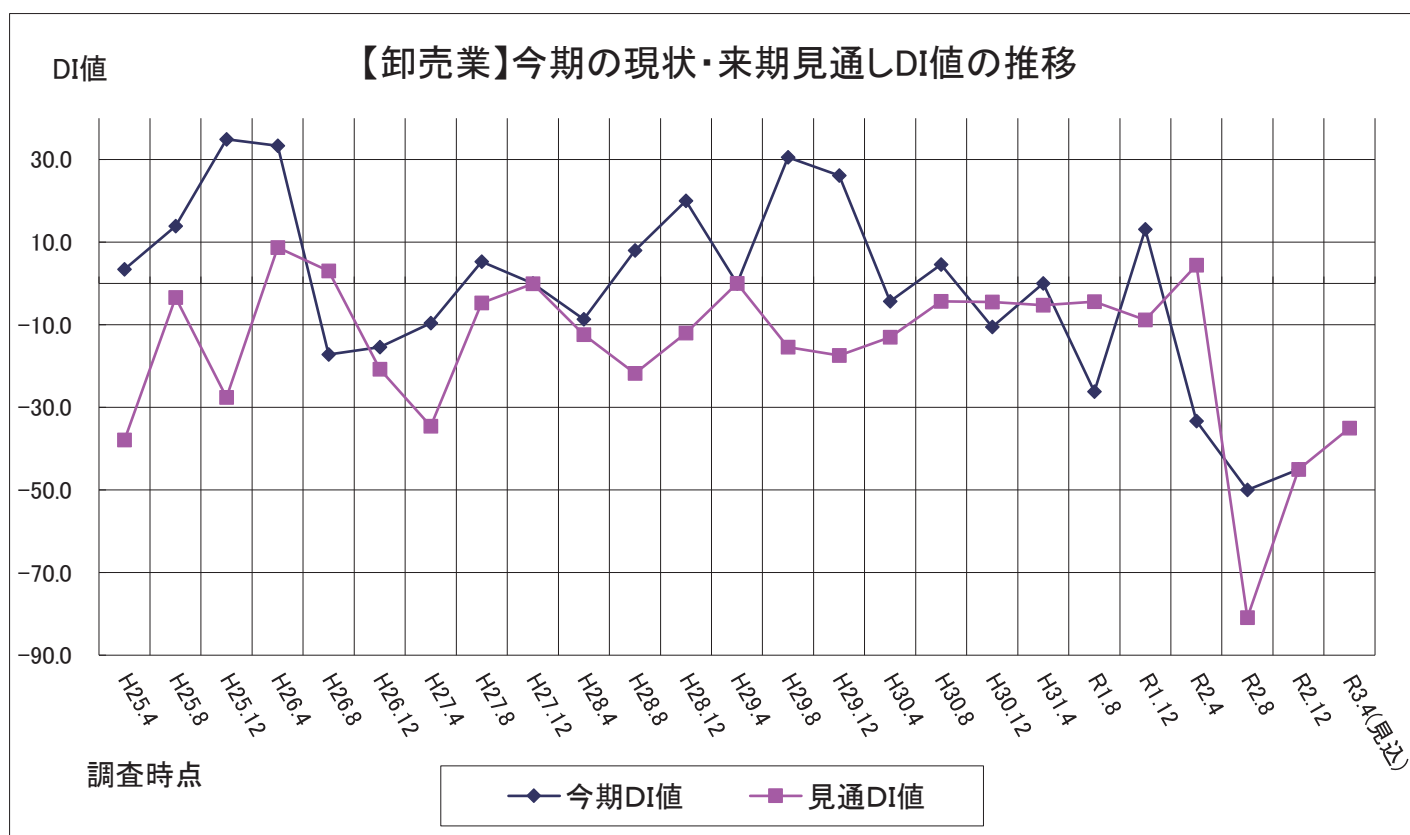
## 製造業

- ・今期D I値は△38.2となり、前回より20.6ポイント改善、前年同期より20.0ポイント悪化。
- ・来期D I値は△57.4となり、今期より19.2ポイント悪化。



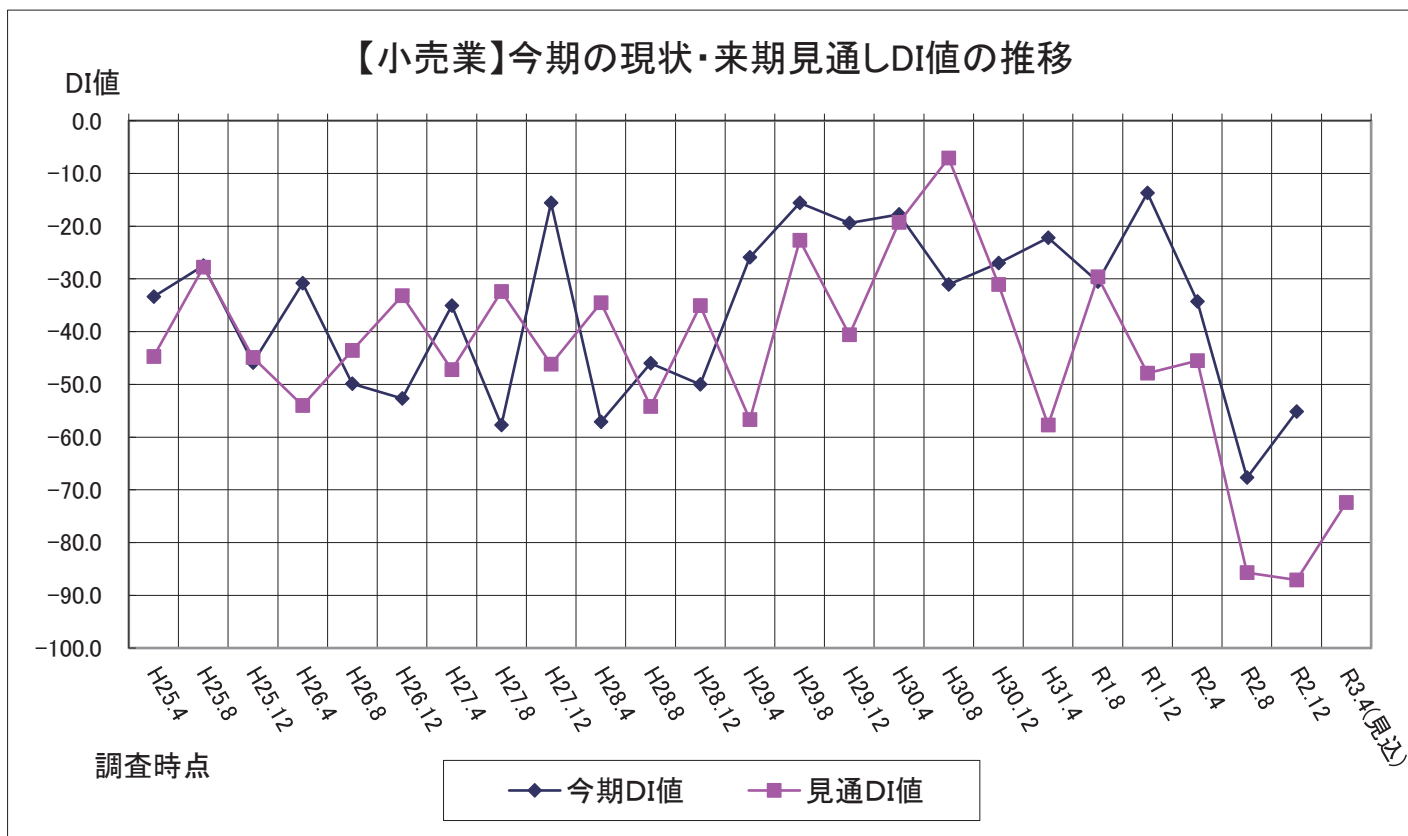
## 卸売業

- ・今期D I値は△45.0となり、前回より5.0ポイント改善、前年同期より58.1ポイント悪化。
- ・来期D I値は△35.0となり、今期より10.0ポイント改善。



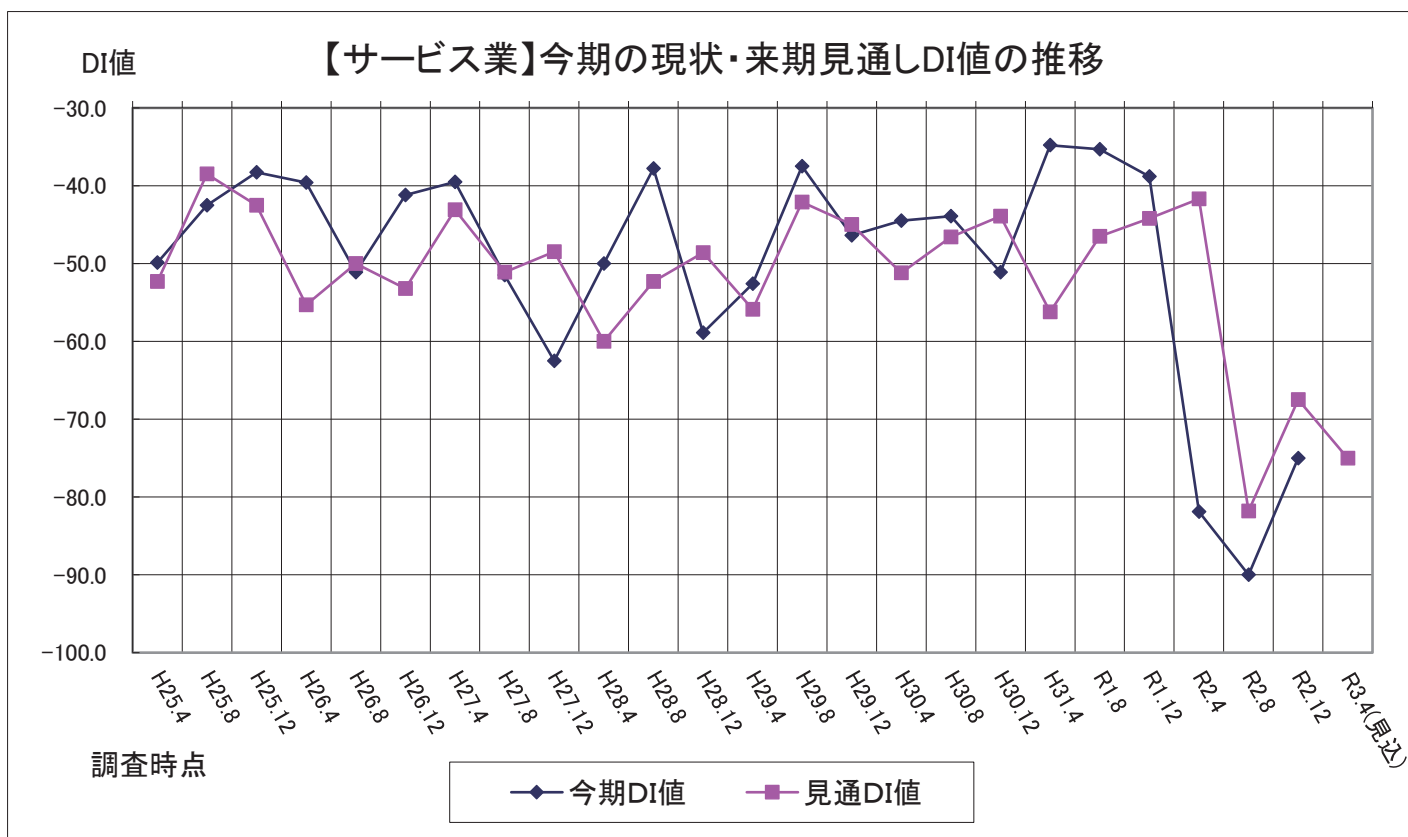
## 小 売 業

- ・今期D I 値は△55.2となり、前回より12.5ポイント改善、前年同期より41.5ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△72.4となり、今期より17.2ポイント悪化。



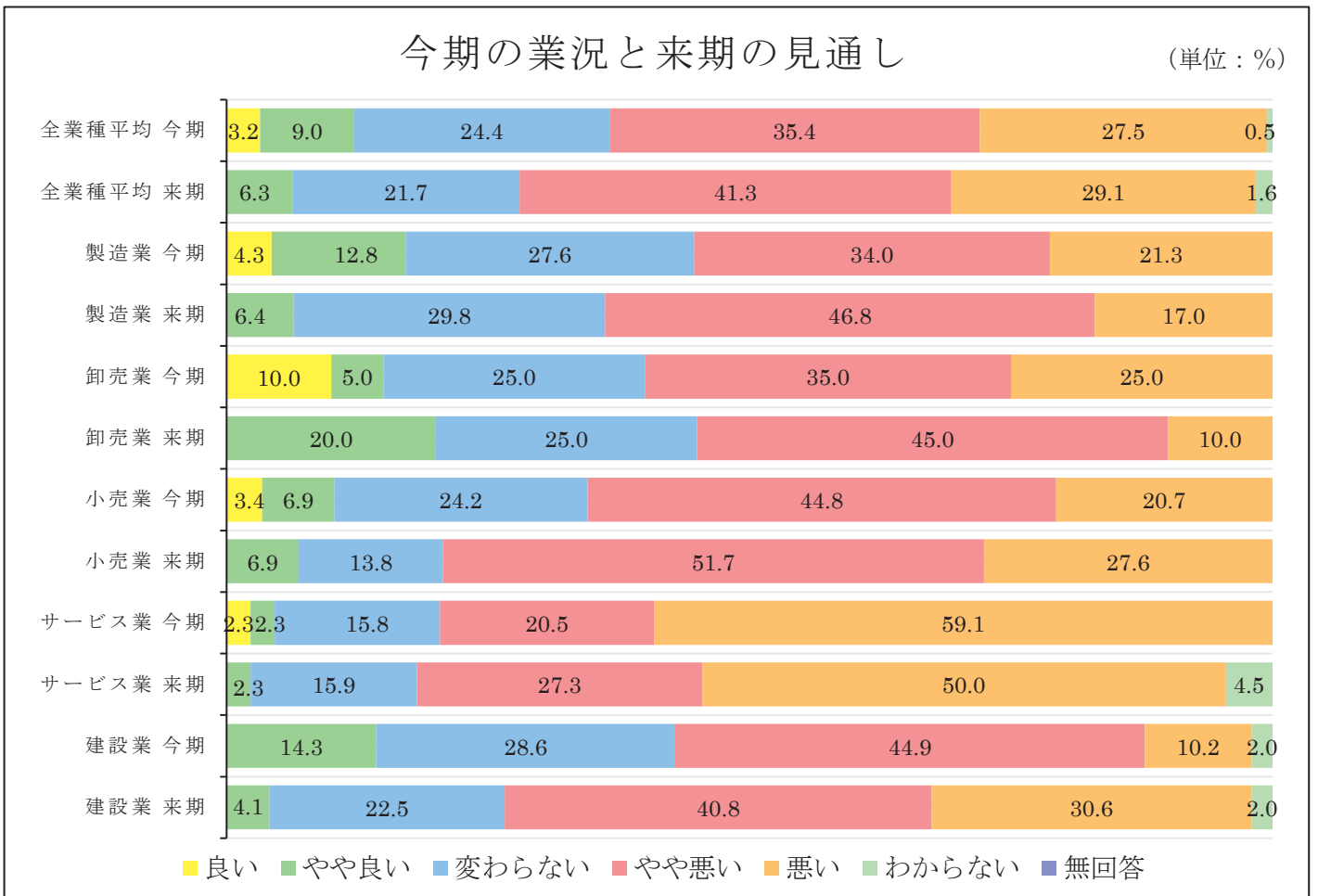
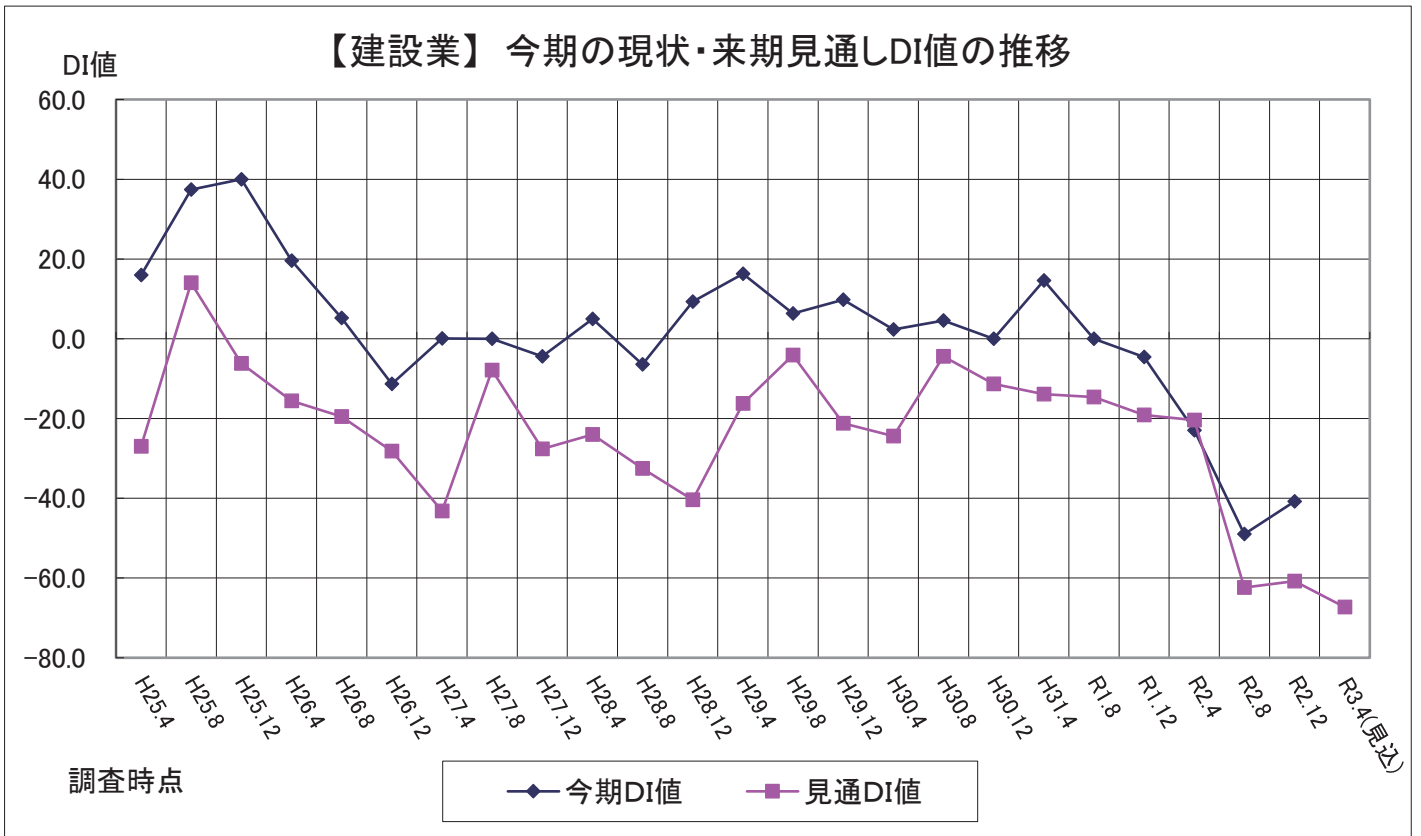
## サービス業

- ・今期D I 値は△75.0となり、前回より15.0ポイント改善、前年同期より36.2ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△75.0となり、今期D I 値と同じ数値となっている。



## 建設業

- ・今期D I値は△40.8となり、前回より8.2ポイント改善、前年同期より36.2ポイント悪化。
- ・来期D I値は△67.3となり、今期より26.5ポイント悪化。





### 3. 売上状況

#### 全業種平均

- ・今期D I値は△50.8となり、前回より7.3ポイント改善、前年同期より39.6ポイント悪化。
- ・来期D I値は△68.8となり、今期より18.0ポイント悪化。

#### 製造業

- ・今期D I値は△29.8となり、前回より23.2ポイント改善、前年同期より20.7ポイント悪化。
- ・来期D I値は△61.8となり、今期より32.0ポイント悪化。

#### 卸売業

- ・今期D I値は△50.0となり、前回より15.0ポイント、前年同期より67.4ポイント悪化。
- ・来期D I値は△45.0となり、今期より5.0ポイント改善。

#### 小売業

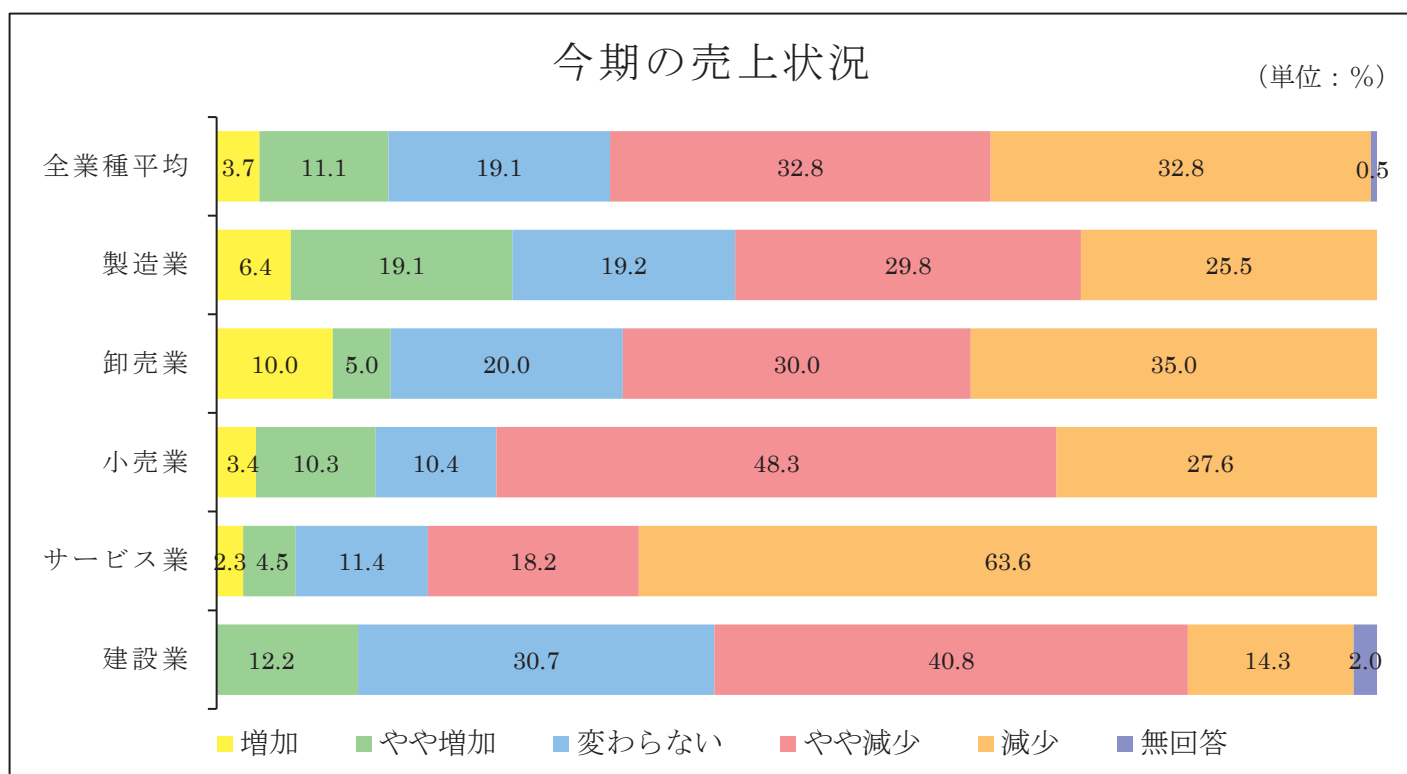
- ・今期D I値は△62.2となり、前回より2.3ポイント改善、前年同期より48.5ポイント悪化。
- ・来期D I値は△82.8となり、今期より20.6ポイント悪化。

#### サービス業

- ・今期D I値は△75.0となり、前回より10.0ポイント改善、前年同期より38.9ポイント悪化。
- ・来期D I値は△79.5となり、今期より4.5ポイント悪化。

#### 建設業

- ・今期D I値は△42.9となり、前回より4.1ポイント改善、前年同期より36.1ポイント悪化。
- ・来期D I値は△67.3となり、今期より24.4ポイント悪化。



## 4. 利益状況

### 全業種平均

- ・今期D I 値は△46.5となり、前回より11.5ポイント改善、前年同期より32.3ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△61.3となり、今期より14.8ポイント悪化。

### 製造業

- ・今期D I 値は△34.0となり、前回より1.3ポイント改善、前年同期より22.6ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△49.0となり、今期より15.0ポイント悪化。

### 卸売業

- ・今期D I 値は△25.0となり、前回より15.0ポイント改善、前年同期より20.6ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△35.0となり、今期から10.0ポイント悪化。

### 小売業

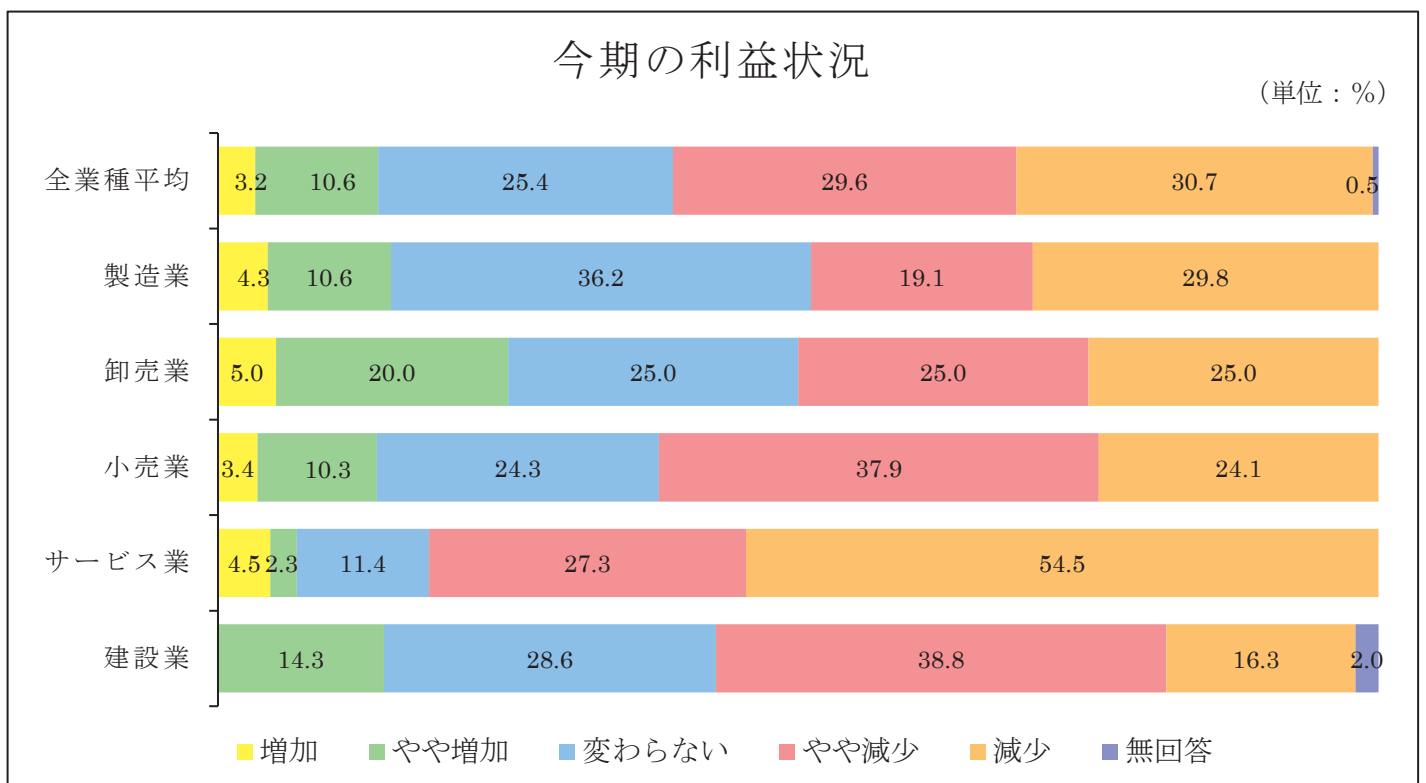
- ・今期D I 値は△48.3となり、前回より26.0ポイント改善、前年同期より30.1ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△68.9となり、今期から20.6ポイント悪化。

### サービス業

- ・今期D I 値は△75.0となり、前回より10.0ポイント改善、前年同期より30.6ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△77.3となり、今期より2.3ポイント悪化。

### 建設業

- ・今期D I 値は△40.8となり、前回より16.1ポイント改善、前年同期より45.2ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△65.3となり、今期より24.5ポイント悪化。



## 5. 資金繰り状況

### 全業種平均

- ・今期D I値は△15.9となり、前回より10.0ポイント改善、前年同期より13.6ポイント悪化。
- ・来期D I値は△42.7となり、今期より26.8ポイント悪化。

### 製造業

- ・今期D I値は△21.2となり、前回より1.6ポイント、前年同期より23.5ポイント悪化。
- ・来期D I値は△27.6となり、今期より6.4ポイント悪化。

### 卸売業

- ・今期D I値は20.0となり、前回より15.0ポイント、前年同期より15.7ポイント改善。
- ・来期D I値は△30.0となり、今期より50.0ポイント悪化。

### 小売業

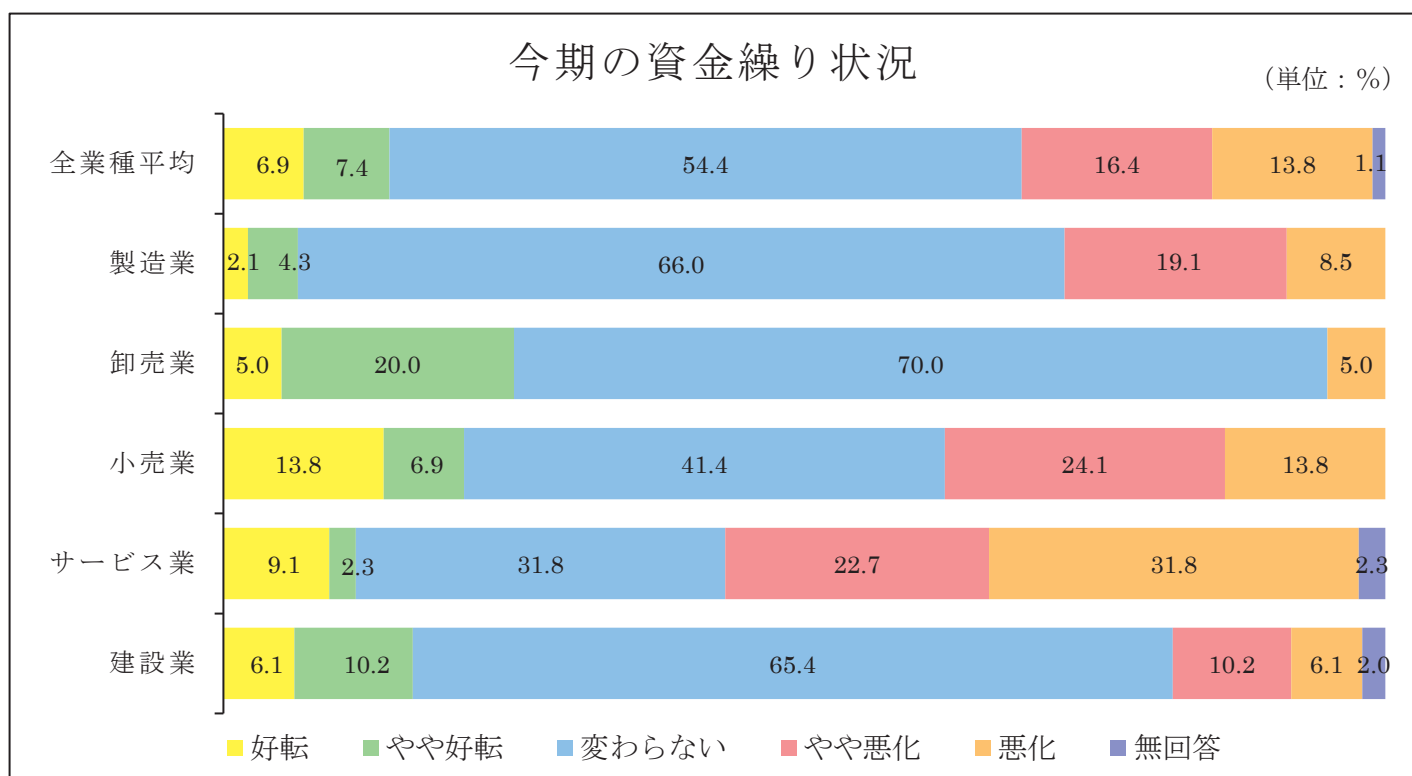
- ・今期D I値は△17.2となり、前回より11.7ポイント改善、前年同期より17.2ポイント悪化。
- ・来期D I値は△38.0となり、今期より20.8ポイント悪化。

### サービス業

- ・今期D I値は△43.1となり、前回より9.4ポイント改善、前年同期より15.4ポイント悪化。
- ・来期D I値は△68.2となり、今期より25.1ポイント悪化。

### 建設業

- ・今期D I値は0.0となり、前回より21.5ポイント改善、前年同期より9.1ポイント悪化。
- ・来期D I値は△42.8となり、今期より42.8ポイント悪化。



## 6. 設備投資状況

### 全業種平均

- ・今期に設備投資を行った割合は27.0%となり、前回より0.1%、前年同期より5.0%減少。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は24.9%となり、今期より2.1%減少。

### 製造業

- ・今期に設備投資を行った割合は38.3%となり、前回より0.9%、前年同期より0.3%減少。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は40.4%となり、今期より2.1%増加。

### 卸売業

- ・今期に設備投資を行った割合は15.0%となり、前回より5.0%増加、前年同期より32.8%減少。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は10.0%となり、今期より5.0%減少。

### 小売業

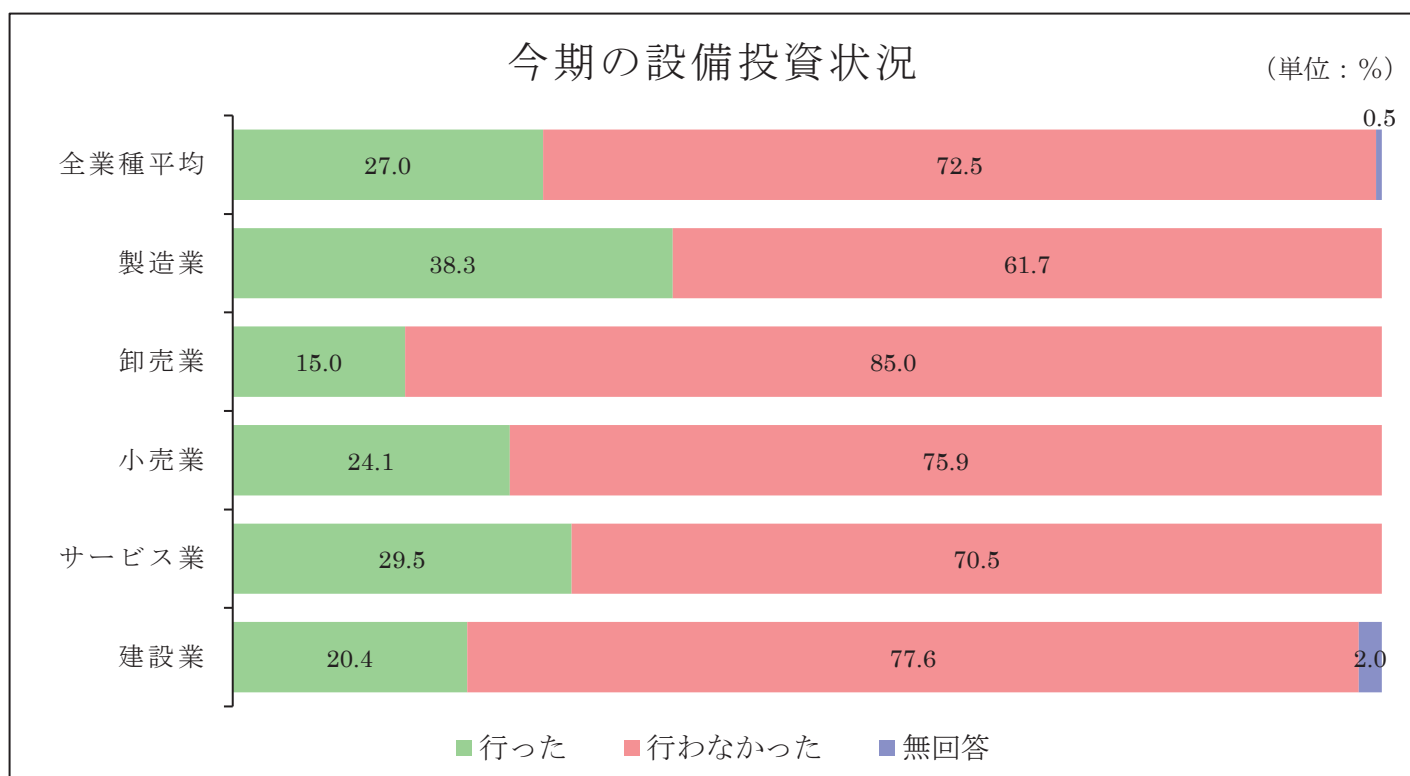
- ・今期に設備投資を行った割合は24.1%となり、前回より1.5%、前年同期より1.4%増加。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は17.2%となり、今期より6.9%減少。

### サービス業

- ・今期に設備投資を行った割合は29.5%となり、前回より7.0%、前年同期より10.1%増加。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は20.5%となり、今期より9.0%減少。

### 建設業

- ・今期に設備投資を行った割合は20.4%となり、前回より7.6%、前年同期より11.4%減少。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は24.5%となり、今期より4.1%増加。



## 7. 雇用状況（『今期の雇用状況』は「従業員を雇用している企業」のみ回答）

### 全業種平均

- ・今期D I値は△34.7となり、前回より13.7ポイント不足感が増加、前年同期より12.4ポイント不足感が減少。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は25.4%となり、前回より4.2%増加。

### 製造業

- ・今期D I値は△34.3となり、前回より12.8ポイント不足感が増加、前年同期より4.5ポイント不足感が減少。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は38.3%となり、前回より10.8%増加。

### 卸売業

- ・今期D I値は△5.3となり、前回より0.3ポイント、前年同期より23.3ポイント不足感が減少。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は10.0%となり、前回より10.0%減少。

### 小売業

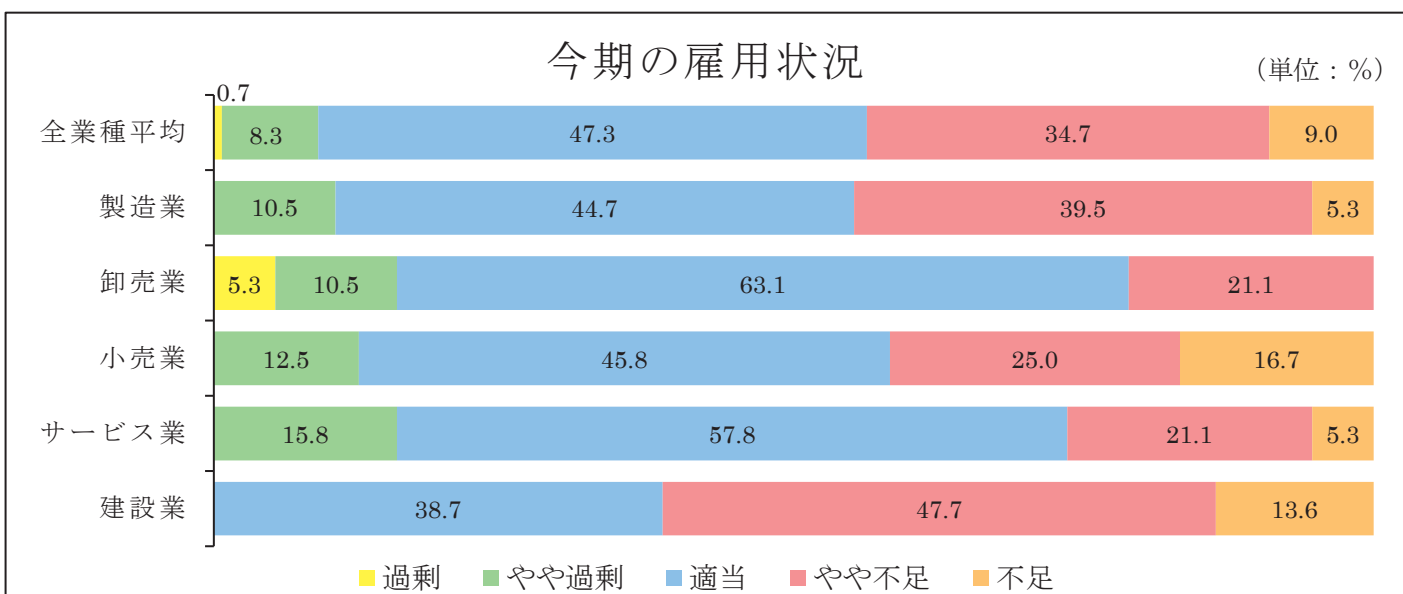
- ・今期D I値は△29.2となり、前回より18.4ポイント不足感が増加、前年同期より8.9ポイント不足感が減少。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は20.7%となり、前回より11.0%増加。

### サービス業

- ・今期D I値は△10.6となり、前回より29.6ポイント不足感が増加、前年同期より33.8ポイント不足感が減少。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は11.4%となり、前回より3.9%増加。

### 建設業

- ・今期D I値は△61.3となり、前回より7.9ポイント不足感が増加、前年同期より9.7ポイント不足感が減少。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は34.7%となり、前回より1.4%増加。



## 8. 「外国人技能実習生」または「外国人労働者」の受け入れ状況

### 全業種平均

- ・「受け入れている」企業は4.3%となり、前回より0.1%増加。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は3.7%となり、前回より3.6%減少。

### 製造業

- ・「受け入れている」企業は10.6%となり、前回より2.8%増加。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は2.1%となり、前回より1.8%減少。

### 卸売業

- ・「受け入れている」企業は前回に引き続き無し。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は5.0%となり、前回より5.0%減少。

### 小売業

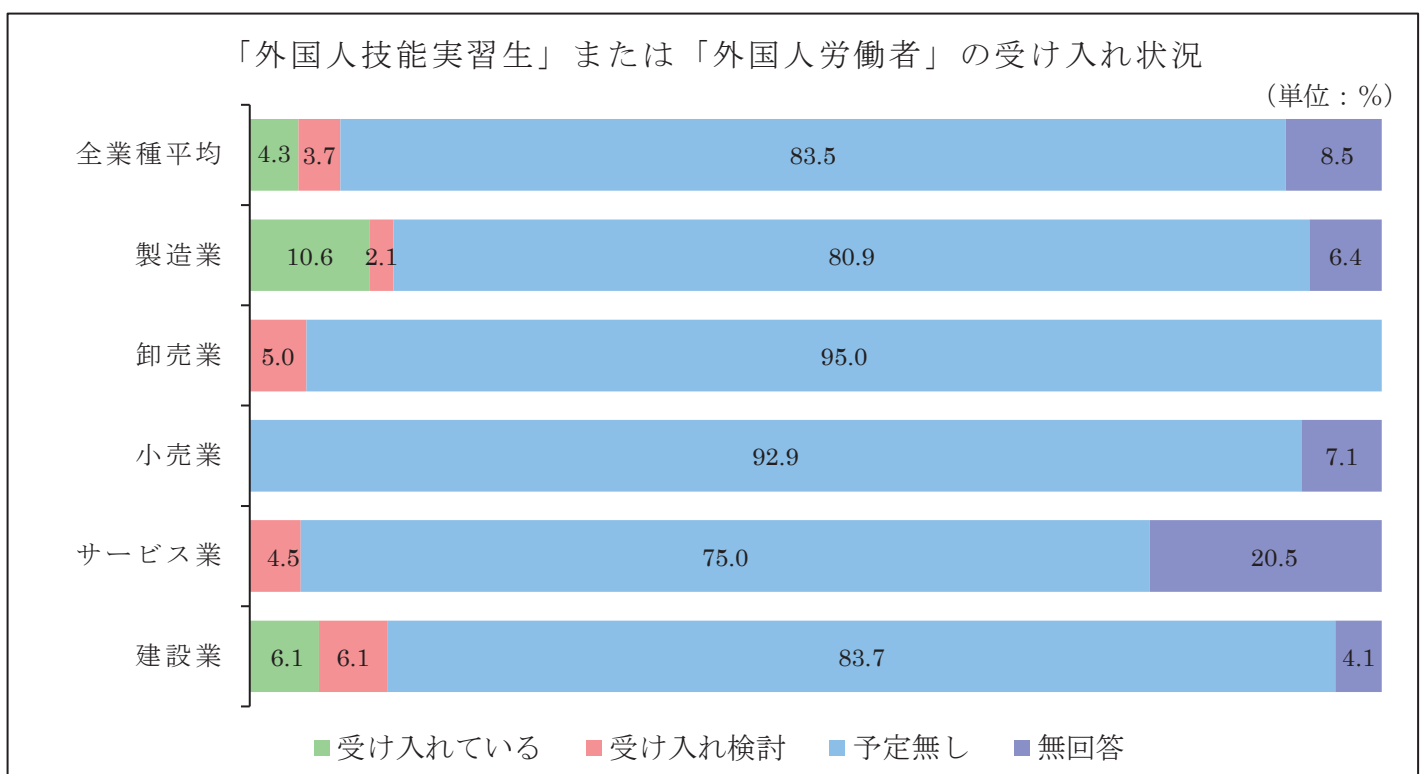
- ・「受け入れている」企業は前回に引き続き無し。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は0.0%となり、前回より10.3%減少。

### サービス業

- ・「受け入れている」企業は前回に引き続き無し。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は4.5%となり、前回より2.0%増加。

### 建設業

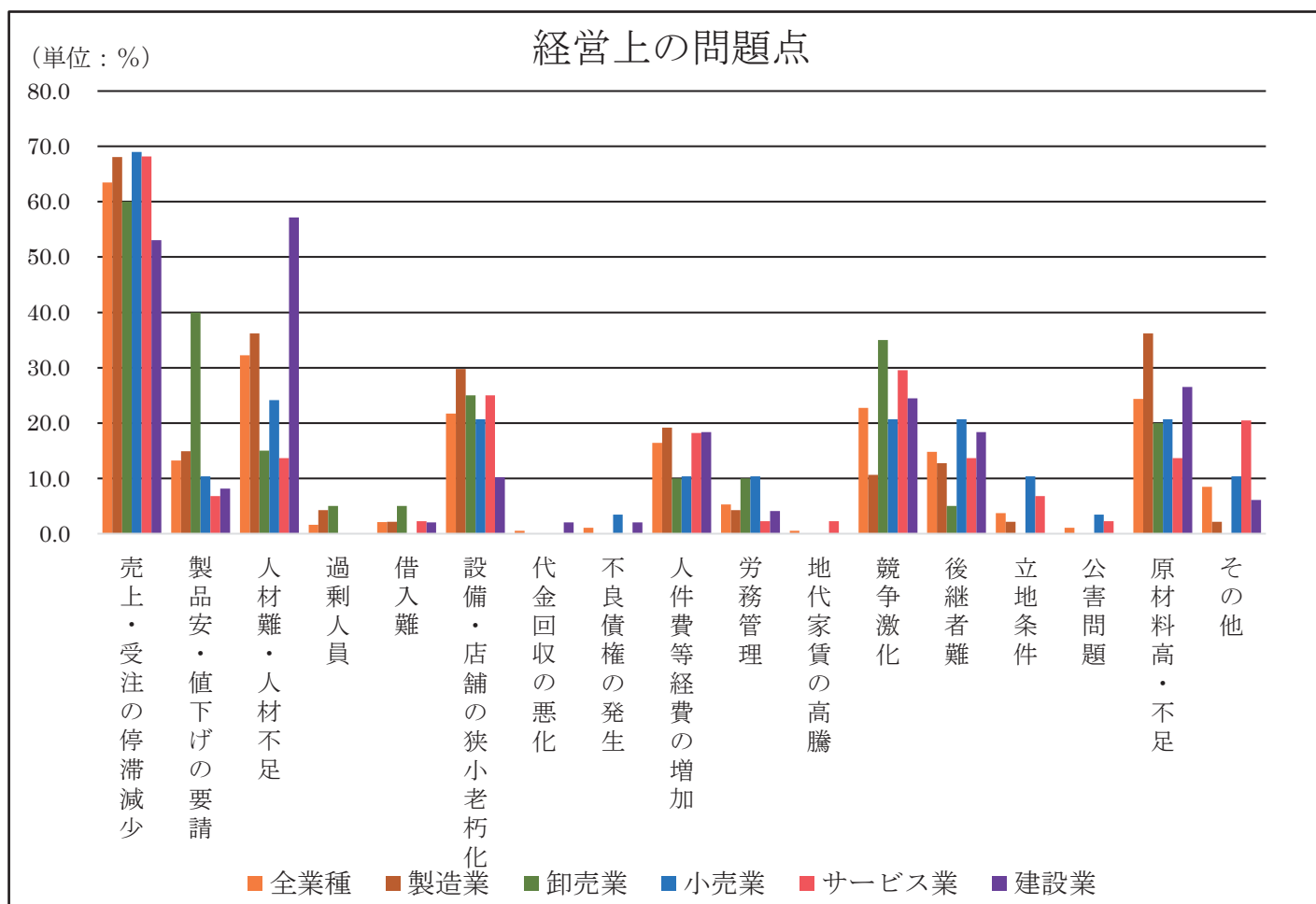
- ・「受け入れている」企業は6.1%となり、前回より1.7%減少。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は6.1%となり、前回より5.7%減少。



## 9. 経営上の問題点

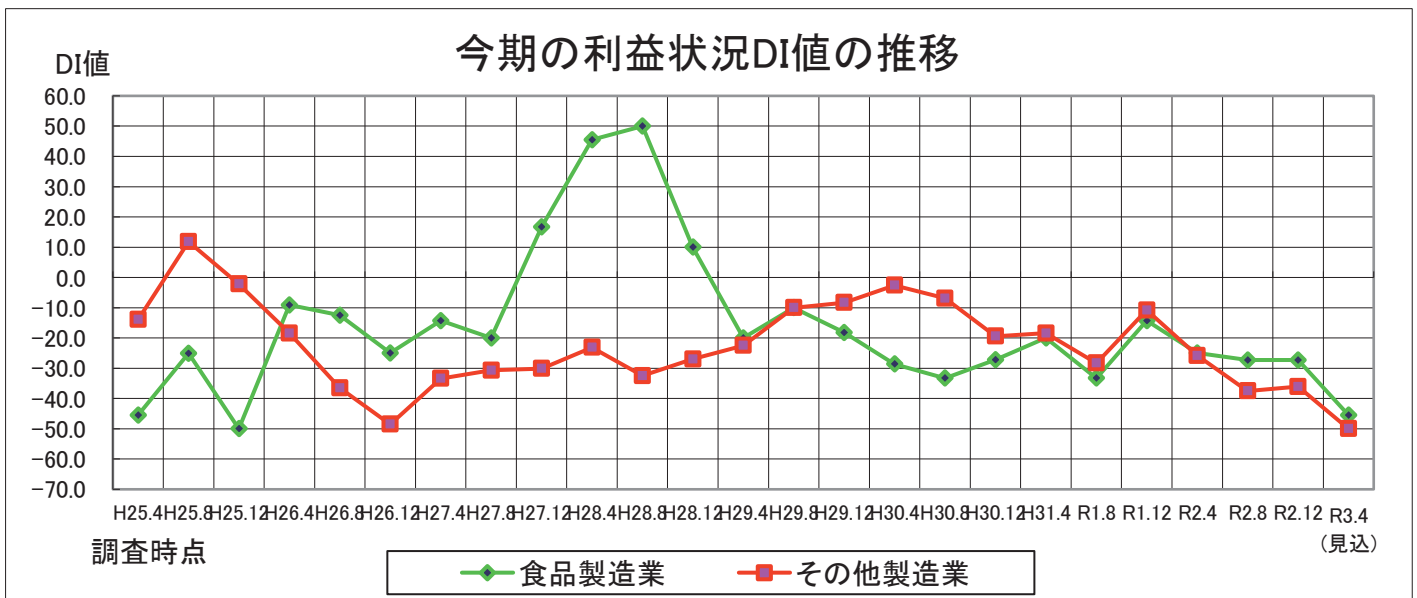
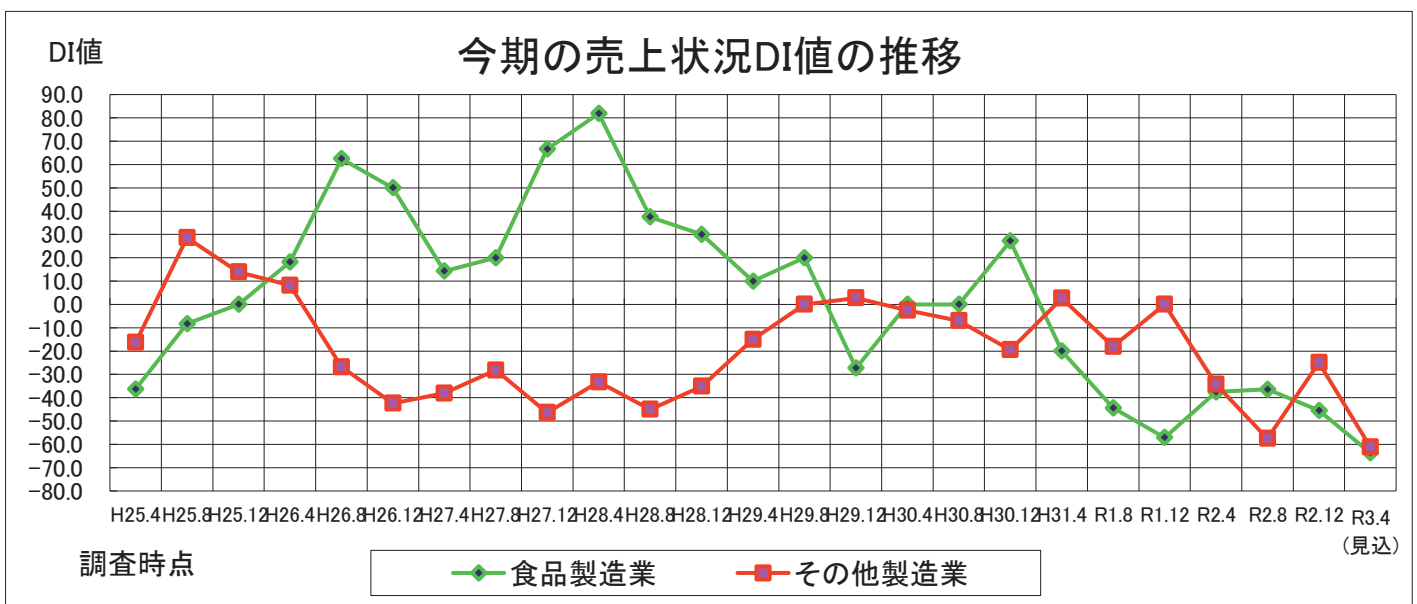
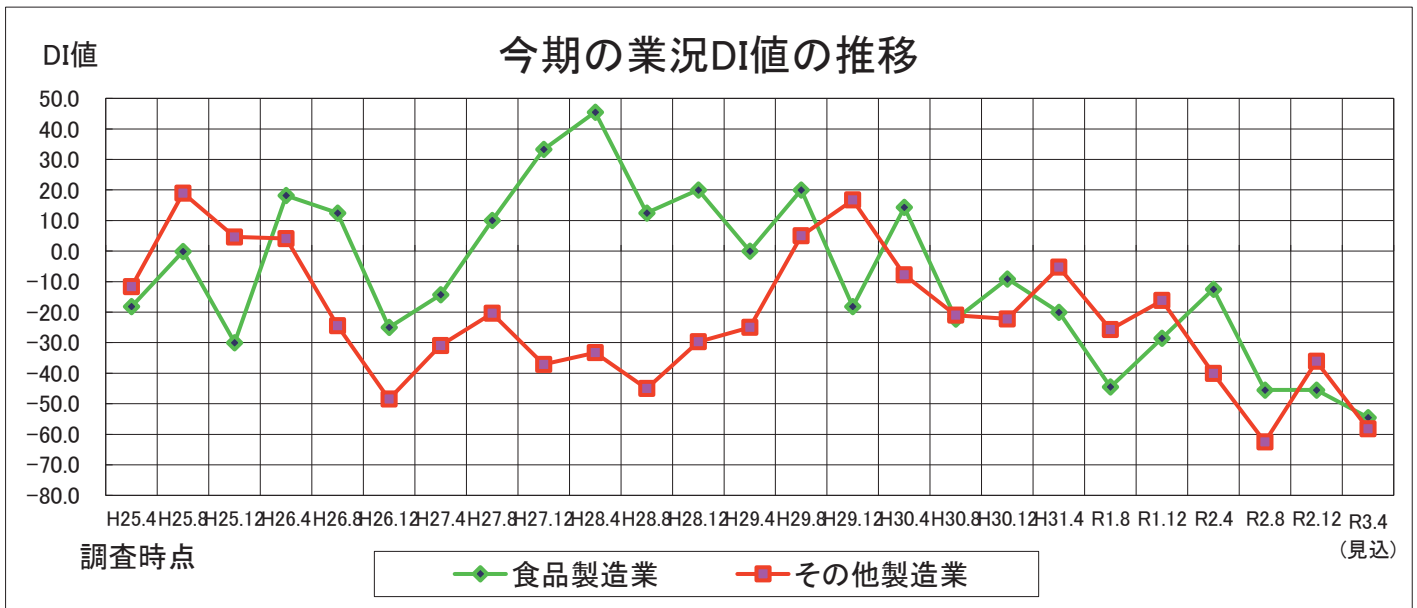
- ・全業種平均では「売上、受注の停滞減少」が63.5%と全体を通じて最も高く、次いで「人材難、人材不足」が32.3%、「原材料高及び不足」が24.3%と高い割合となっている。
- ・「その他」の意見として、「新型コロナウイルス感染症による客足の減少、先の見通しに対する不安」「得意先の業績悪化」「経営者の身体的不安」などに苦慮する声が聞かれた。
- ・業種別の問題点上位は以下のとおり。（グラフは業種別のみ、無回答は除く）

製造業	売上・受注の停滞減少 (68.1%)	人材難、人材不足 原材高及び不足 (36.2%)	設備、店舗の狭小老朽化 (29.8%)
卸売業	売上・受注の停滞減少 (60.0%)	製品安又は値下げの要請 (40.0%)	競争激化 (35.0%)
小売業	売上・受注の停滞減少 (69.0%)	人材難・人材不足 (24.1%)	設備、店舗の狭小老朽化 競争激化 後継者難 原材高及び不足 (20.7%)
サービス業	売上・受注の停滞減少 (68.2%)	競争激化 (29.5%)	設備、店舗の狭小老朽化 (25.0%)
建設業	人材難・人材不足 (57.1%)	売上・受注の停滞減少 (53.1%)	原材高及び不足 (26.5%)



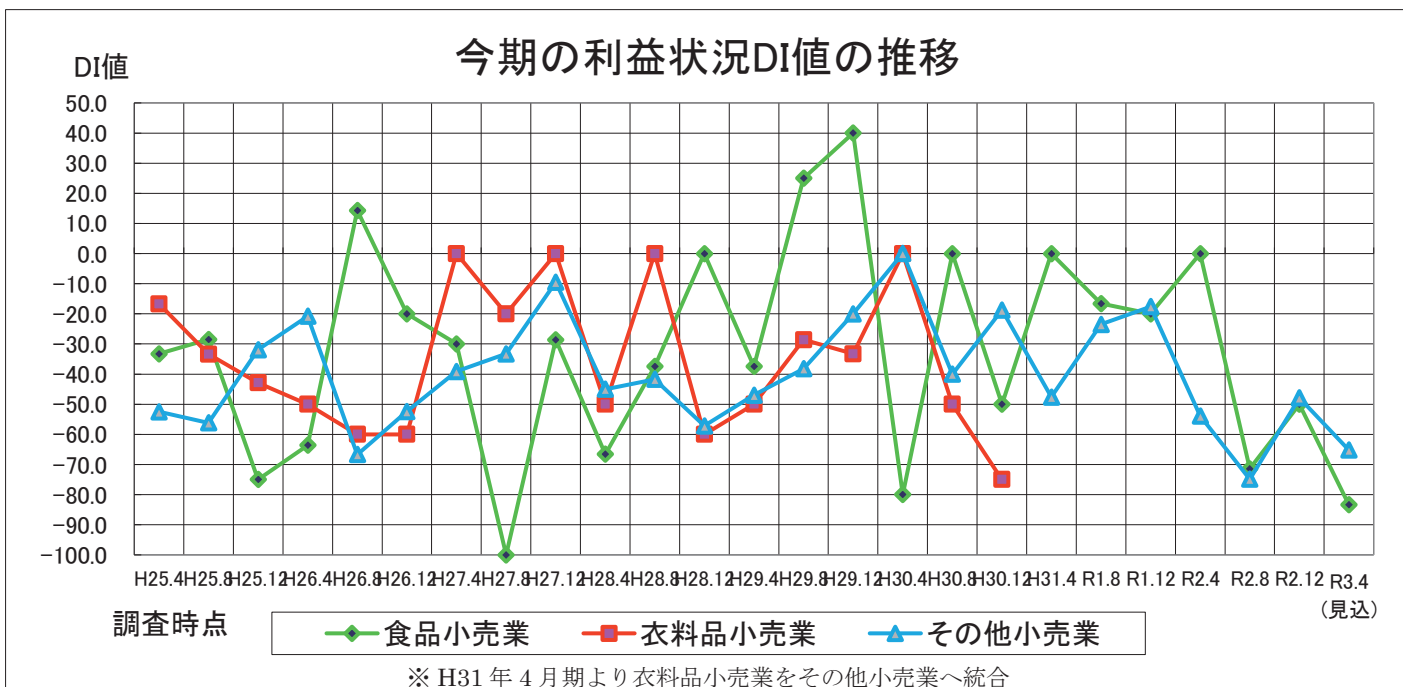
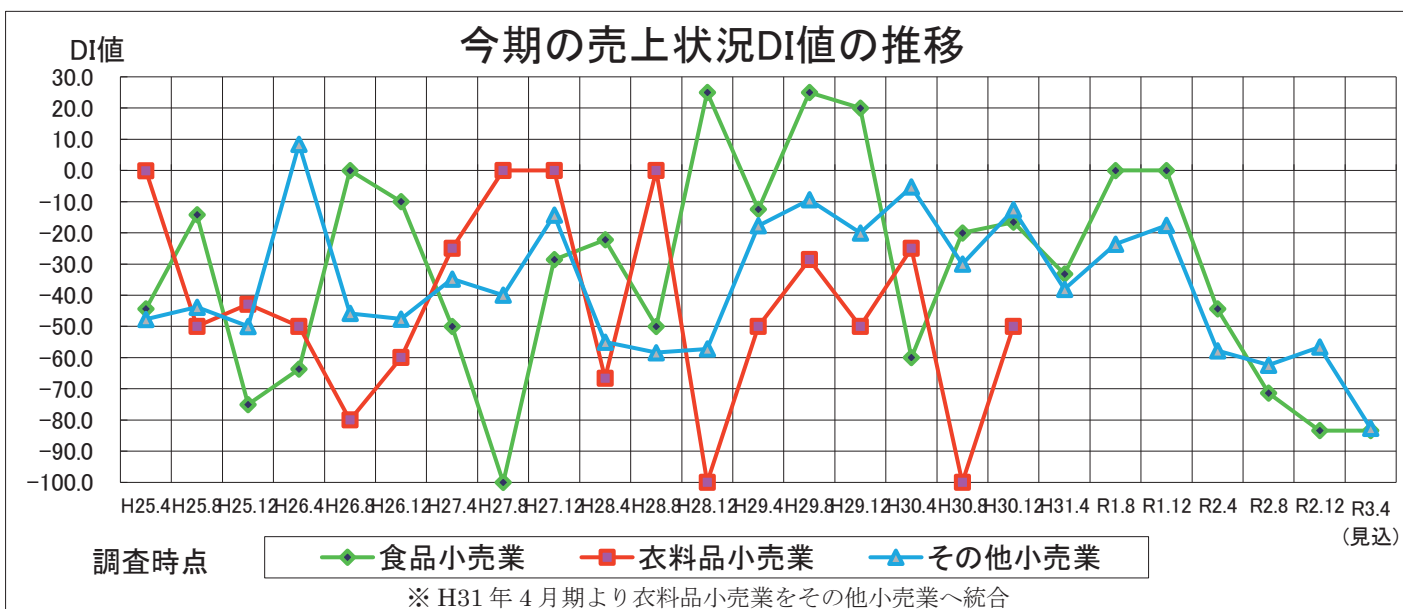
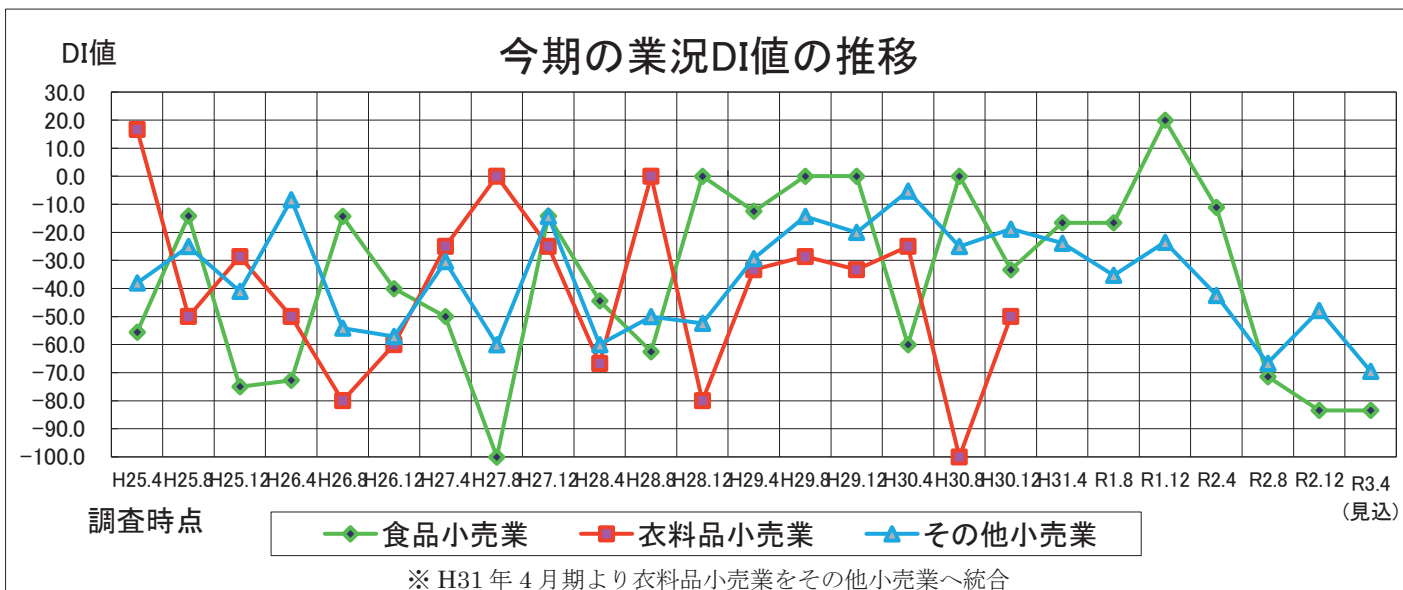
### Ⅲ 業種別参考資料

#### 1. 製造業

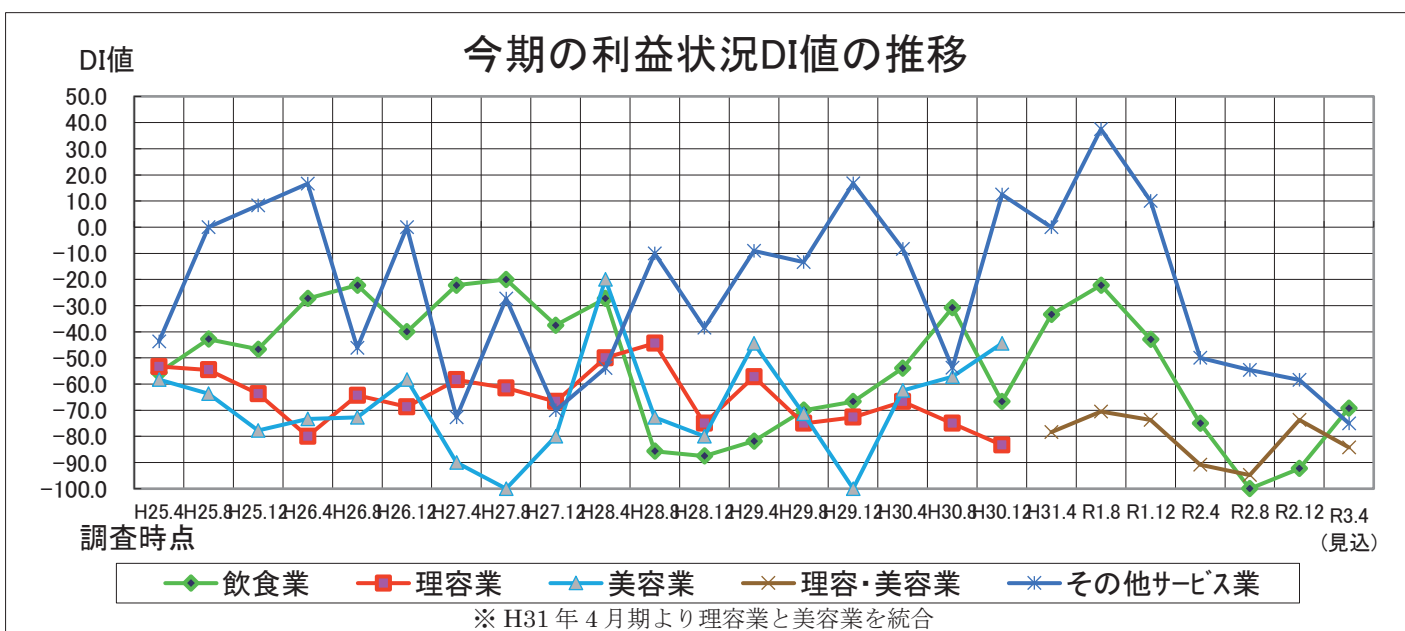
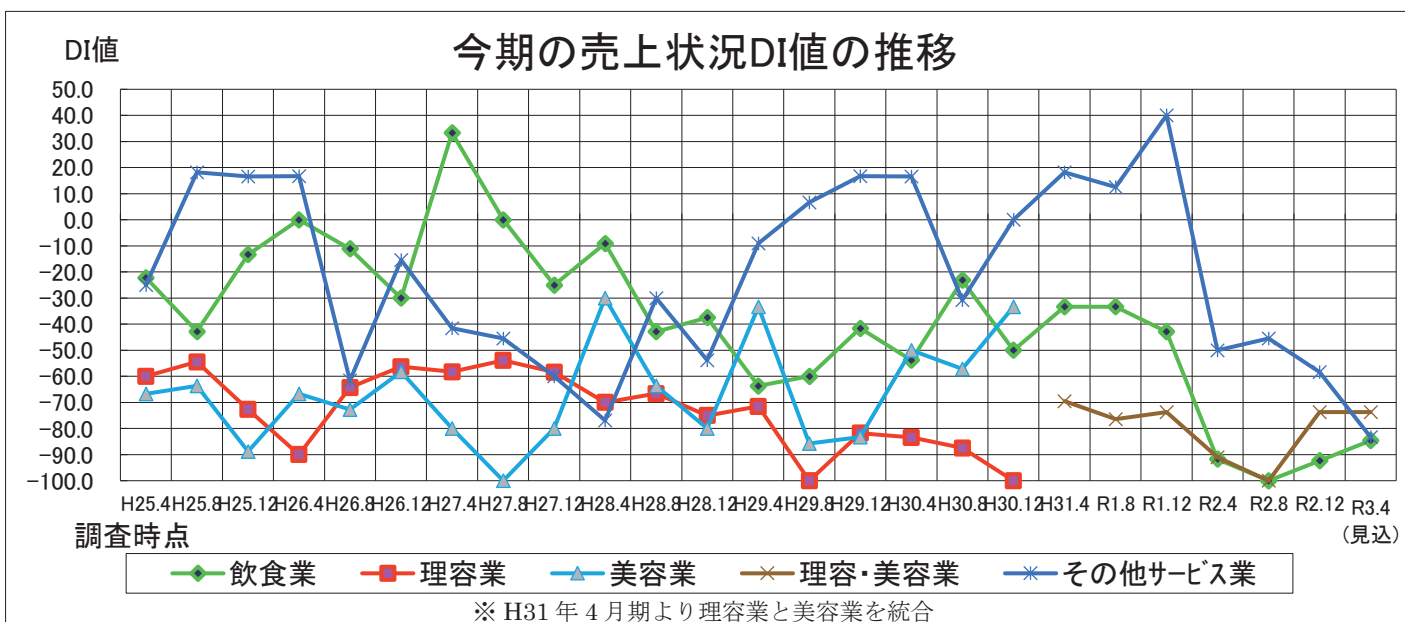
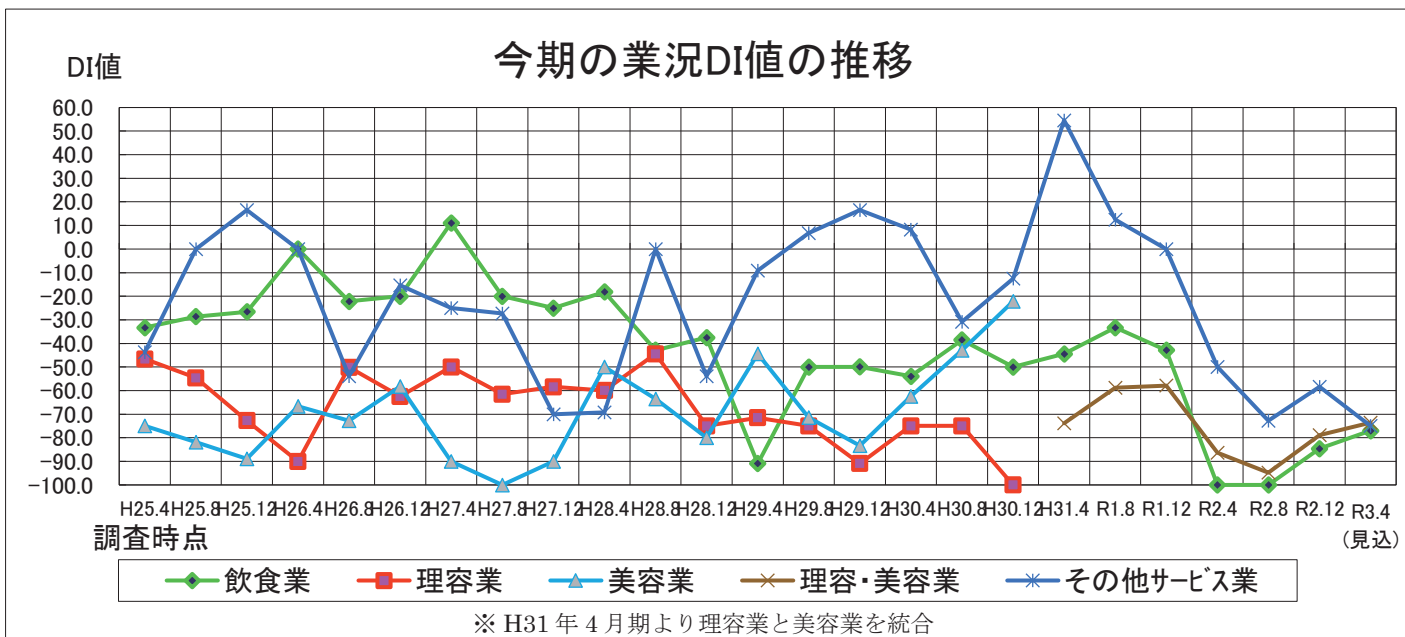




## 2. 小売業



### 3. サービス業



## 4. 建設業

